

2024年1月29日
株式会社ダイナックス

ダイナックス、道内最大規模のカーポート型メガソーラー竣工

株式会社ダイナックス(以下「当社」)は、北海道内で最大規模となる合計 2.2MW のカーポート型太陽光発電設備を、千歳工場および苫小牧工場に導入しました。発電した電力は工場で全量自家消費し、CO₂排出量削減に寄与します。



カーポート型太陽光発電設備を設置したダイナックス千歳工場(左)と苫小牧工場(右)



カーポート型太陽光発電設備 外観 (両面受光パネル採用)

従業員用駐車場の敷地を有効活用し、千歳工場は 356 台分、苫小牧工場は 428 台分となるカーポート型太陽光発電設備を導入。太陽光発電設備で発電した電力は当社の工場で全量自家消費し、千歳工場は年間 674t、苫小牧工場は年間 730t の CO₂排出量を削減できる見込みで、全社における CO₂排出量の約 3.7%に相当します。^{※1}

【カーポート型太陽光発電設備の概要】

	千歳工場 ^{※2}	苫小牧工場
駐車可能台数	356 台	428 台
所在地	北海道千歳市上長都 1053-1	北海道苫小牧市字柏原 6-183
PV モジュール枚数	2,484 枚	2,982 枚
設置容量(DC)	1,006.02kW	1,207.00kW
発電量(年間)	1,028,231kWh (全社使用電力の 2.6%)	1,113,228kWh (全社使用電力の 2.9%)
CO ₂ 排出量削減見込(年間)	674t (全社 CO ₂ の 1.8%)	730t (全社 CO ₂ の 1.9%)
稼働開始日	2024 年 1 月 15 日	2024 年 1 月 22 日

※1 2019 年度の実績比較。

※2 千歳工場における本事業は環境省による補助事業「令和 4 年度 二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金 民間事業等による再エネ主力化・レジリエンス強化促進事業 新たな手法による再エネ導入・価格低減促進事業 ソーラーカーポート事業」に採択されました。

当社は、2050 年にカーボンニュートラルを目指し取り組んでおり、2030 年には 2019 年度比で温室効果ガス(GHG)排出量を 46%削減することを目標に掲げています。今後も再生可能エネルギーの導入をはじめ、環境に配慮した製品群の拡充、生産体制の双方からカーボンニュートラルに挑戦し、SDGs の理念に基づく「未来の社会づくり」に貢献して参ります。

【株式会社ダイナックス】

名称	株式会社ダイナックス https://www.dynax-j.com/
所在地	北海道千歳市上長都 1053 番地 1
代表者	代表取締役社長 伊藤和弘
事業内容	乗用車・商用車並びに産業用・建設機械用・船舶用の 湿式摩擦材、プレート等、摩擦機能部品の製造販売

お問い合わせ先:

株式会社ダイナックス カーボンニュートラル推進部
カーボンニュートラル推進チーム長 舟根

E-mail: funane-t@mail.dxj.co.jp

TEL : 070-1400-4503